
「限局性肝細胞癌に対する定位放射線治療の後ろ向き研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの臨床情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年04月01日から2024年9月30日の期間に埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科を受診し、肝細胞癌と診断され、定位放射線治療を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

近年、限局性肝細胞癌に対する治療として体幹部定位放射線治療(SBRT)が新たな選択肢として注目されています。通常の直線加速器を使った SBRT においてもその有効性と安全性が報告されています。一方当院では腫瘍近傍に留置された金属マーカーをリアルタイムに追従しロボットアームによる高精度な照射を行う CyberKnife®や、MRI により治療中の腫瘍や周囲正常組織をモニタリングしながら照射を行う MRIdian®による SBRT を行っています。

CyberKnife®や MRIdian®は従来よりも腫瘍を制御しつつ、肝臓や消化管などの正常組織への侵襲を減らすことが期待されます。ところが、CyberKnife®および MRIdian®を用いた治療のデータはまだ限定的です。

そこで本研究では、CyberKnife®および MRIdian®を使用した SBRT の臨床成績を後ろ向きに評価し、その治療効果と安全性を科学的に検証し、今後の治療方針の確立に重要な情報を提供します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年09月30日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

当院での診療記録、放射線治療の情報を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科において、

研究責任者である斎藤 哲が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

肝細胞癌と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	斎藤 哲（研究責任者）
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	加藤眞吾
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	野田真永
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	熊崎祐
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	阿部孝憲
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	平井隆太
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	猪狩光紳
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	青鹿友美
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	龍野康弘
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	飯野美咲
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	大田朝宏
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	塚原啓太
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	渡辺潤
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	坂口拓海
埼玉医科大学国際医療センター	放射線腫瘍科	道又玄太

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 斎藤 哲

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：限局性肝細胞癌に対する定位放射線治療の後ろ向き研究

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 斎藤 哲